

市町村アカデミー 開設30周年記念特別講演会

平成29年10月31日～11月1日



市町村アカデミーは、昭和62年の開設から本年度で30周年を迎えましたが、これを記念して、10月31日、11月1日の2日間の日程で、「市町村アカデミー開設30周年記念特別講演会」を開催しました。「人口減少時代の政策課題」をテーマに、第一線で御活躍の講師の皆様にご講演をいただきましたが、全国各地から126名の市町村長及び副市町村長並びに市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

まず、開設30周年を記念して、全国市長会会長であり、また当アカデミーを運営する（公財）全国市町村研修財団理事長でもある松浦正人 山口県防府市長から開講のことばをいただきました。

最初の講演として、日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授の神野直彦先生から、「新しい時代における地方行政への期待」と題して、グローバルな観点から、社会の変化とそれを踏まえた市町村の役割についてお話をいただきました。参加者からは、「時代の流れにより、現在はさらに地方自治体の行政サービスが重要になっていることが理解できた。」「ポスト重化学工業時代に向け、自市町村に内在するものを整理し、発展させるべきものがないか再検討したい。」などの感想をいただきました。

続いて、「現代社会の行方と日本」と題して、京都大学こころの未来研究センター特任教授、京都大学名誉教授の佐伯啓思先生から、経済成長を問い直し、価値観の転換が必要であると、深い洞察に基づいたお話をいただきました。参加者からは、「今日の成熟した社会ではさらに経済成長を求めても限界があること、マーケットでは測れない信頼等の大切さを感じた。」「自分でもぼんやりと感じていた今の世の中、社会について佐伯先生にまとめていただいた感じがし、頭の中がよく整理できた。」などの感想をいただきました。

2日目は、村山内閣から小泉内閣まで、5人の総理大臣に官僚トップとして仕えられた元内閣官房副長官の古川貞二郎氏から、「これからの時代における市町村の責務」と題して御講演いただきました。参加者からは、



全国市長会会長 松浦正人氏



全国町村会会長 荒木泰臣氏

「人間的に尊敬できるお話であり、長年の経験に裏打ちされた内容だった。」
「幹となる中長期的な視点でこれからの行政を考えること、志高く、また胆力が重要であるとのお話が特に深く心に残った。」などの感想をいただきました。

次に、「新しい時代の地域社会について語る」をテーマに、NHK解説副委員長 島田敏男氏のコーディネートのもと、中村時広 愛媛県知事など地域社会の実情に詳しい5名のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

前半は、各パネリストから、それぞれの立場で、新しい時代の地域社会について問題提起をいただきました。開設30周年ということで、30年という一世代に相当する長いスパンで「過去」「現在」「未来」について、触れていただきました。

まず、元総務省の事務次官であり、今回の講演会のテーマを提案した前市町村アカデミー学長の林省吾氏から地域の長期ビジョンの必要性などについてお話をいただきました。

次に、都市部の基礎自治体また女性の市町村長のお立場から清原慶子 東京都三鷹市長から、これからの地域社会を考える上でのキーワードについて、続いて中山間地域の基礎自治体の長のお立場から石橋良治 島根県邑南町長から町が取り組んでいる攻めと守りの政策について、続いて広域自治体の長であり、市長や国会議員等の幅広い経験を踏まえて中村時広 愛媛県知事から、市町村と県のチームワーク作りなどについてお話をいただきました。

最後にまちづくりが御専門で、様々な地域の事例に携わっておられる弘前大学大学院地域社会研究科長・教授の北原啓司先生から成熟社会におけるまち育てについてお話をいただきました。

後半のディスカッションタイムでは、パネリストどうし、そして参加者とパネリストとの質疑応答を行いました。大変盛り上がり、110分という時間があっという間に過ぎてしまいました。参加者からは、「コーディネーター、パネリストの人選が良く、大変面白い話を聞くことができた。」、「県、市、町、学、官のトップランナーの考えを一挙に聞ける機会は有意義だった。」などの感想をいただきました。

最後に全国町村会会長であり、また財団副理事長でもある荒木泰臣 熊本県嘉島町長から閉講のことばをいただき、2日間の特別講演会を締めくくりました。

講演会全体については、「目先にとらわれない広い視点の内容でよかった。」、「今回の研修で「これからどうするか」ということについてヒントを得ることができた。」などの感想が、参加者から寄せられました。

講演の詳細を掲載しています。

講演 「新しい時代における地方行政への期待」

日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授 神野直彦先生 2ページ

講演 「現代社会の行方と日本」

京都大学こころの未来研究センター特任教授・京都大学名誉教授 佐伯啓思先生 8ページ

講演 「これからの時代における市町村の責務」

元内閣官房副長官 古川貞二郎氏 14ページ

パネルディスカッション 「新しい時代の地域社会について語る」 20ページ

(コーディネーター・NHK解説副委員長 島田敏男氏／パネリスト・愛媛県知事 中村時広氏、東京都三鷹市長 清原慶子氏、島根県邑智郡邑南町長 石橋良治氏、弘前大学大学院地域社会研究科長・教授 北原啓司先生、前市町村職員中央研修所学長 林 省吾氏)



パネルディスカッションの様子